

令和3年11月11日
四国地方整備局 四国技術事務所

遠隔操縦式バックホウの操作訓練を実施します

～早期の災害対応とICT施工の普及拡大を目指す～



四国技術事務所が保有する遠隔操縦式バックホウ2台を使用し、災害現場での遠隔操縦技術の習得を目指した訓練を行います。

近年、土砂災害や地震が頻発していますが、災害直後の現場では二次災害の恐れから作業員による現場作業が難しい場合があります。そんな場合において、遠隔操縦式バックホウ等(無人化施工技術)を活用することで安全で迅速な作業が可能となります。

また、インフラDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進する国土交通省では、施工業者によるICT(情報通信技術)施工の普及拡大を目指すための操作講習としても位置付けています。

○日 時 令和3年11月16日(火) 9:00~12:00
13:30~16:30

11月17日(水) 9:00~12:00
13:30~16:30

○訓練対象者(建設会社のオペレータ)
・国と災害発生時の応急対策活動等の協定を締結した建設会社
・国発注の維持工事を受注した建設会社

○見学者 徳島・香川県内の建設会社関係者等

○開催場所 国土交通省 四国地方整備局 四国技術事務所内
(香川県高松市牟礼町牟礼1545)

○注意事項 新型コロナウイルス感染予防として、訓練はマスクの着用、アルコール消毒、検温、ソーシャルディスタンスの確保等にご協力をお願いします。

本施策は、四国地震防災基本戦略及び四国圏広域地方計画の「№1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」の取組に該当します。

問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 四国技術事務所

(代表) TEL (087) 845-3135

四国技術事務所 副所長

田中 裕 (内線204)

◎施工調査・技術活用課長 柏木 佳彦 (内線381)

◎: 主な問い合わせ先

【前回ラジコン式バックホウ訓練風景(R2. 11. 25~26)】

目視によるラジコン操作



モニターを見ながらのラジコン操作



【ラジコン式バックホウ出動実績(平成16年以降)】

出動日	出動先	規格	目的
H16.12.07～14	香川県三豊郡	0.45m3級	R32土砂崩壊による撤去作業
H17.02.28～03.31	徳島県那賀郡	0.45m3級	R195土砂崩壊による撤去作業
H20.04.25～05.15	高知県いの町	0.45m3級	R194土砂崩壊
H24.08.29～09.28	近畿地整(奈良県吉野郡吉野町)	0.45m3級	平成23年台風12号による土砂災害復旧支援
H28.04.14～09.29	熊本県南阿蘇村	0.45m3級	平成28年熊本地震による法面崩壊箇所の土砂撤去作業
H28.04.18～09.29	熊本県南阿蘇村	1.0m3級	平成28年熊本地震による法面崩壊箇所の土砂撤去作業
H29.11.22～23	愛媛県西条市	0.45m3級	県道12号崩壊現場の撤去作業
H30.07.14～11.13	高知県長岡郡大豊町	1.0m3級	平成30年7月豪雨 崩壊箇所の土砂撤去作業
H30.09.07～22	北海道勇払郡厚真町	0.45m3級	平成30年北海道胆振東部地震における支援

※注: 1.0m3級: 1.0m3級ラジコン式バックホウ(空輪対応型・分解組立型)

0.45m3級: 0.45m3級ラジコン式バックホウ

災害現場におけるラジコン式バックホウの出動実績

(平成30年 7月高知自動車道立川橋復旧現場(高知県長岡郡大豊町))



平成30年7月7日未明、梅雨前線の活発化による豪雨のため、大豊町の高知自動車道で大規模な斜面崩壊が発生し、上り線の立川橋が流出。
H30.7.14～11.13当事務所保有のラジコン式バックホウ1.0m3級にて災害復旧を支援。



目視が困難な場所は、モニタにより確認しながら操作を行う。



※ バックホウは油圧ショベルとも言われている建設機械です。ラジコン式バックホウは、二次災害の発生が予想される危険な災害現場でもオペレータは、機械から最大150m離れた安全な場所からラジコン操作できます。